きゅうしょくしつからのおしらせ

きょうのもりつけ

令和6年 12月23日(月)



今日は"キャベツ"のお話です。キャベツの歴史はとてもられて、エリシャ時代には薬として利用されて、ローマ時代には薬として利用されて、ローマ時代には強康のためによい食べ物として食べられていました。日本へは江戸時代にオランダ人によって伝えられたと言われています。キャベツの名前の由来は、英語名の"キャベジ"がなまったものと言われています。キャベツには胃腸薬にも使われるビタミンしという成分がふくまれ、胃腸を保護してくれる働きをします。キャベツは西東京市で一番多く生産されている野菜ですが、今年は生育状況が悪く、苦労されているようです。今日もしっかり食べましょう!

きょう じばのうさんぶつ なかののうえん こまっな 今日の地場農産物 中野農園より小松菜です。

ちょっと メモ